

色えんぴつ

～それぞれの色、それぞれの個性を大切にしよう～



草津中学校
第2学年
学年通信

NO.10
2020.12.1

教育実習の先生がきました ～最後の学活での一場面～

教育実習の先生が3組と4組に入られました。3組の★★先生は音楽、4組の■■先生は国語の授業を担当されました。実習期間最終日、それぞれの学級でお別れ会を催しました。本校吹奏楽部出身の★★先生は、ファゴットという楽器を演奏し、3組に希少な音色を響かせました。最終日が■■先生の誕生日だと知り、4組はフルーツバスケットで「今日誕生日の人」という気の利いたアイデアで、真ん中に立ってもらい囲む形でサプライズを行っていました。

両クラスとも、実習生の先生方に内緒で寄せ書きを作ってプレゼントをしていました。プレゼントを渡した後、小学校の実習にも行って来た■■先生に対し、4組担任の●●先生がこんなことをおっしゃいました。「中学生はこんなことができるんです」。先生にお膳立てをされなくても、中学生は自分たちで考え、自分たちの力で何かを成し遂げることができる。私が中学生を尊敬している理由を、象徴するような言葉でした。

お二人の先生方はとっても喜んでおられました。3組、4組のみなさん、中学生の力を見せてもらいました。ありがとう。



人権学習に取り組みました ～「水平社宣言」から差別の不合理さを学ぶ～

全国水平社の創立に尽力し、部落差別と闘った西光万吉の思いや考えを知り、差別に対して自分は何ができるのか考えました。解放令で制度としての差別は無くなったはずなのに、人々の心の中からは、これまでの偏見や差別意識がなくなり、差別はなくなりませんでした。

政府は「差別されている側を改善する必要がある。そうすれば、世間の人々も同情してくれて差別がなくなる。」という方針を立てます。差別をなくそうと働きかけたある新聞記者は、「世間の同情を得ることは差別解消に繋がる。同情することの何が悪い。自分は立派なことをしている。」と語っていました。この二つの考え方はどこに間違いがあったのでしょうか？

「**同じ人間とは、尊敬し合える関係でなくてはならない**」西光万吉の言葉です。

それは、友だち同士も、生徒と先生も、親と子も、みんな同じことが言えるのだと思います。

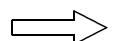
水平社宣言 「人の世に熱あれ 人間に光あれ」

「熱」とは「光」とは一体何をさしているのだろうか？「人」と「人間」とはなぜ使い分ける必要があったのだろうか？日本で初めての「人権宣言」とされ、人権尊重の壮絶な思いや願いが込められた水平社宣言。

「人間」とは「人と人との間」と考えると、差別を受けてきた人だけでなく、「全ての人」に光が当たるようにという願いが込められたものであることが読み取れます。「みんなの人権が尊重されるように」と願いが込められた水平社宣言、心の中に大切にしまっておいてください。



裏面に12月の予定表を記載しています



12月の予定

日	曜	1	2	3	4	5	6	弁当	行事等
1	火	○	○	○	○	○	○	○	
2	水	○	○	○	○	○		○	
3	木	○	○	○	○	講演	木5	○	⑤薬物乱用防止講演
4	金	○	○	○	○	●	●	○	⑤⑥5～7組体力向上プロジェクト
7	月	○	○	○	○	○	○	○	
8	火	○	○	○	○	○	○	○	
9	水	○	○	○	○	○		○	
10	木	理テ	英テ	国テ	○				後期中間テスト
11	金	数テ	社テ	○	○				後期中間テスト
14	月	○	○	○	○	○	○	○	
15	火	○	○	○	○	○	○	○	
16	水	○	○	○	○	○		○	
17	木	○	○	○	○	○	○	○	
18	金	○	○	○	○	国テ	数テ	○	⑤⑥学びの基礎チャレンジテスト
21	月	○	○	○	○	○	○	○	
22	火	○	○	○	○	○	○	○	
23	水	○	○	○	○	○		○	
24	木	○	○	○	○				学級懇談会 部活動再登校
25	金	式	集会	金2					終業式、クリーン大作戦

※4日（金）⑤⑥1組～4組は通常授業です

※25日（金）クリーン大作戦参加者と、部活動によっては弁当が必要です

※部活動の完全下校は16：50（25日は15：30）です

1月の予定

6日（水）始業日、②③実力テスト（弁当無し）

7日（木）①②③実力テスト（弁当必要）

12日（火）GTEC検定試験



保護者の皆様へ

3時間にわたり部落問題学習に取り組みました。第2時を終えた後このような生徒の感想がありました。「こんな条例が作られていたと思うと、嫌な時代だったんだなと思ったし、今平等に生かされていることは、この時代の改革のおかげなんだなと思いました。」

生徒たちの多くは「昔のこと」と認識しており、第3時で現在も存在する差別だという事実を知ります。感想を読んでいると、学習を通して少しずつ生徒たちの意識の変容が窺えます。これから、さまざまな疑問や、さまざまな思いが生まれてくることが予想されます。

部落問題学習は3カ年を通し、次年度も継続して学習をしていきます。この先、さまざまな疑問や不合理に対する解決への糸口を見い出していくことになるかと思えます。もし現段階で、お子さんから疑問や問いかけがあったときは、親子で人権について語る機会にいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。